

武蔵工業大学後援会誌[ マイコム ]

# MI-COM

no. 29 2004.1

- 後援会副会長挨拶……………p1
  - 平成15年度 「大学と父母との連絡会」取材レポート……………p2
  - 平成15年度 就職動向と指導……………p5
  - キャンパス Spot 10 ……………p7
  - クラブ活動紹介 21……………p9
  - Campus Topics……………p13
  - 平成15年度 「大学と父母との連絡会」実施結果……………p15
- 写真：第74回 MI-TECH祭



# ＊ 後援会副会長挨拶



武蔵工業大学後援会副会長

相模 静夫

## 「ユビキタス」社会の到来で、 日本再び世界の主役へ

ワールドカップといえば、サッカーのイメージが強いが、スポーツとは別に、「電子政府ワールドカップ」をご存知だろうか？ 日本の電子政府<sup>1</sup>実現度は、2003年11月発表で世界ランキング18位(表1)、奇しくもラグビー<sup>2</sup>と同じである。英国・米国・オーストラリア等6カ国は、共に日本より上位に位置する。電子政府に関して、日本は「アジアの先進諸国と比較にもならないレベル」と酷評<sup>1</sup>されている。IT関連業界に身を置く1人の技術者としては心外だ。

2001年日本政府は、e-Japan戦略(電子政府構想)で、5年以内に世界最先端のIT国家実現を掲げ、産官学協同、国家プロジェクトとして取り組んでいる。電子政府2010年、総務省の描く姿のひとつに、ユビキタス<sup>3</sup>ネットワーク社会がある。その意味合いは、いつでも、どこでも、誰でも、何でもネットに繋がり、さまざまな利便性(通信サービス)を得られることにある。電子機器だけでなく、食品包装、衣類、本など、ありとあらゆるものに超小型チップを埋め込み、それらをネットワーク化することで、もっと便利、もっと豊かな社会を実現する。たとえば、鞆を無くしても、電話すると鞆が位置情報を携帯に教えてくれるとか、薬箱(袋)同士がコミュニケーションし、組み合わせが良くないから飲まないようにと携帯に警告を発してくれるなどである。

この「ユビキタス社会」実現に、日の丸コンピュータOS(基本ソフト)トロン<sup>4</sup>が大きく貢献している。既にデファクト(事実上の世界標準)として、デジカメや携帯電話の殆ど、プリンターやエアコン、通信カラオケ、自動車エンジンなどに使われて、産業のインフラとしてなくてはならない存在となっている。

バブル崩壊、日本経済の停滞、失われた10年と言われて久しいが、悲観する事は無い。日本型モノ作りの強さは生きている。半導体や液晶市場を席卷する韓国・台湾、低コスト量産力が強みの中国、ソフト大国のインド…、日本を脅かすアジアの新興

国も、モノ作りではモノカルチャーでシステム統合力は弱く、容易に参入出来ない業界がある。日本メーカーが80～90%のシェアを持つデジカメ等の精密業界である。強さの秘密はさまざまな技術の複合化とハードとソフトの強力な融合である。すなわち「技術の総合力」や「軽薄短小」技術では依然世界一、日本のお家芸は不滅であると言える。

日の丸を背負って戦う電子政府と日本ラグビーは共に低迷している。どちらも頑張っ欲しい。個人的には、突出した技術の総合力、先ほどのハード技術とソフト技術の融合、得意分野で日本の電子政府がワールドカップ世界チャンピオンになる日は近いと信じている。

“Japan as No.1”と言われた1980年代、右肩上がりの高度経済成長の時代には、知恵の出ない人は汗を出して社会に貢献できたが、これからは、知恵も汗も出せて国際的に通用する(ワールドカップで戦える)人材が必要である。

ユビキタスネットワーク社会実現には、図1に示すように、産官学協同の取り組みが必須であり、武蔵工大生にとっては、好奇心、探究心を持って学び続けることの習慣化と人的ネットワークを幾重にも築き、そして、日本が再び世界の主役となるべく、知恵も汗も出して欲しい。

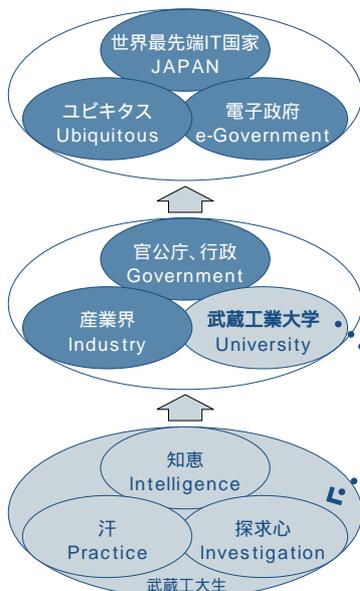


図1 コラボレーション

3 : 1991年米Xerox/パロアルト研究所 Mark Weiser氏の提唱による

4 : 1984年東大教授 坂村 健氏の提唱( TRON Project )





2時からは会場を各教室に移して学科・学年別の懇談会を実施。それぞれの教育指導の方針や具体的な内容、本学学生たちの将来の可能性、そして就職状況など、ご父母にとって非常に関心の高い話題が続き、熱心にメモを取られるご父母の姿も目立ちました。また希望者には個人面談も行われ、担当教員らと終了予定時間をオーバーして熱心に話し込む光景も見られました。

一方の横浜キャンパスは、工学部より先早い10時に受付を開始。10時30分に全体説明会からスタートしました。学長、環境情報学部長、後援会長、教務委員長、就職担当教員よりそれぞれ説明があり、その間、熱心に耳を傾けるご父母の様子は世田谷キャンパ



＊映像を使って分かりやすく説明(横浜)



＊満員の全体説明会会場(横浜)



＊学食メニューは自分で選ぶ(世田谷)



＊定食をはじめ種類や丼物等種類も豊富(世田谷)



＊マンドリンクラブの演奏(世田谷)



＊学科、学年別の懇談会風景(世田谷)

スとまったく同様。今回この機会に各者の説明を聞くことで、環境情報学部が育もうとしている人材、そして学生たちの卒業後の進路などを、リアルに把握していただけたのではないのでしょうか。説明会終了後には、最初の緊張した表情とは違って、安心した表情や満足した表情をしたご父母を多く見ることができました。

説明会の後、11時30分からはキャンパス見学の時間。横浜は最新の情報処理機器を備えるメディアセンターをはじめ、教育の最先端に行く施設を多数設置。それでいて人工環境のみに頼らず、自然との共生をテーマにした“エコキャンパス”を創造しています。皆さん「施設が充実していて、建物もきれいだ」「掃除が行き届いて

＊坂本 翔君(システム情報2年)のご両親



初めて来ましたが、ちょっと駅から遠いんですね。その反面、とても静かで勉強するにはいい環境ですね。

＊和田 住津通君(情報メディア2年)のお父さんとご家族



情報メディアは出来て間もない学科だが、就職指導などを一生懸命やってくれていることがわかり安心しました。

＊須貝 貴弘君(都市基盤1年)のお母さん



キャンパスが広く、特にSAKURAセンターが綺麗で好感が持てました。施設の充実ぶりにも感心しました。

＊猪 信之君(情報メディア2年)のお母さん



LAVIのダンスが面白かった。生徒たちはみんな生き生きとしている人が多く、幸せそうなので好感が持てました。

＊薬師 雅彦君(システム情報2年)のご両親



一般科目だけでなく、専門科目や実験・実習のある科目の特別教室も見られたら良かったですね。

＊植野 博士君(情報メディア2年)のお母さん



授業料が高いので、どんな大学なのか興味がありました。施設も授業も充実し他大学から転入させて良かったです。

＊三沢 一仁君(機械3年)のご両親



就職の話も聞いて良かったですね。ただ、もっと自由にキャンパス内を回れるようにしてくれたらと思います。

＊加藤 晴歩さん(情報メディア2年)のお父さん



教授陣の意気込みが感じられ嬉しく思いました。社会ニーズに応えられるような卒業生を多く育てて欲しいですね。



いて嬉しい」と、非常に感心されていた様子でした。

午後からは昼食タイムを経て、課外活動見学、クラス別懇談会も実施。最後まで充実した懇談会となりました。

こうして東京・横浜地区の「大学と父母との連絡会」は幕を閉じました。学生たちが日々を過ごしているキャンパスでの1日は、非常に有意義なものだったのではないのでしょうか。ご都合があって参加できなかったという皆さん、来年はぜひお待ちしております。



※ 受付開始前から多くのご父母が集まった(横浜)



※ 横浜の課外活動見学はダンス同好会 LAVIIによるダンスの発表会が



※ 熱心にメモを取られる姿も目立った(横浜)



※ 昼食タイムでは、おソバやカレーなど学食の味を試していた(横浜)

### 大学会場以外にも全国24会場で実施

東京・横浜地区以外にも、全国24会場で父母との連絡会が開催されました。ここでは大学会場に次いで多くのご父母の方々にご参加いただいた静岡会場の様子をお伝えします。



### ※ 静岡会場

#### 県内の就職状況について 具体的な説明が好評を博す

世田谷キャンパス教務係長 菅沼直治

現在、本学在学学生の中で静岡県出身者は282名。首都圏外では入学者が最も多い県です。全国各地で行われる「大学と父母との連絡会」についても例年出席者の多い開催都市なのですが、今回も9月6日(土)の浜松会場に33世帯、翌7日(日)の静岡会場には7世帯ものご父母の方々にご出席いただきました。

静岡会場は駅前の「ホテルアジア静岡タワーミナル」が会場。県内東部の伊豆から2時間以上かけて来られた方もいらっしゃいました。出席者の半数は1年生のご父母で、ご両親そろっての出席も目立ちました。8月末に郵送された成績通知書を持って来られた方も多く、我が子の成績をどのように判断したらよいのか、大学スタッフの説明を直接聞いてみたいという期待感が伝わってきました。こうした中、プログラムは10時から約2時間の内容で行われました。

進行は、まず大学の全般概況説明からはじまり、「学修」「キャンパスライフ」「進路(就職・大学院)」の説明。プロジェクターや資料を活用して、両学部の特徴などについても理解を深めていただきました。次第になごやかな雰囲気になったせいか、後半の質疑応答では、「卒業研究着手の意味がやっと理解できた。ではこの成績で着手は可能か?」「大学院進学か就職か、その進路を決めるタイミングはいづらいがリミットなのか?」「県内の就職先をすべて教えて欲しい」など、活発な質問が出されました。

県内の就職状況については、当日同席いただいた武蔵工業会静岡県支部長の小楠様からも心強い情報をいただきました。また、同じく大学スタッフサイドに同席いただいた後援会の静岡地区評議員の磯部様からは、大学と父母との連帯をさらに強くしていくというご発言をいただき、相互の信頼関係を再認識しながら、盛会のうちに閉会となりました。

### 参加されたご父母の方々の感想

※ 平野 繁裕君(コンピュータメディア1年)のお父さん



学科別の説明では、細かいところまで話が聞けて良かったです。学食も味わえるなど、いい経験ができました。

※ 高田 浩二君(機械2年)のお父さん



体育館に続き図書館も新しくなるとのこと。勉強する環境が充実し、いい大学になっていくことを期待しています。

※ 小林 愛海さん(環境情報2年)のお母さん



設備が充実していてうらやましい。家にも欲しいくらい。今回は先生と個人的に話すことができ有意義でした。

※ 安藤 正美さん(環境情報1年)のお母さん



先生や事務の方々のきめ細かな対応と、生徒たちの学ぶ姿勢がまじめなので、ますますこの大学が好きになりました。



# 平成15年度の就職動向と指導

景気回復の見通しは依然不透明ながら、企業の新卒採用には若干光が射してきた。日本経済新聞社の調べによると主要企業の来春の新卒採用は、2003年度実績に比べ0.4%増と2年振りに増加している。大卒では全体で5.6%増、理工系8.1%増、文科系7.2%増で文理ともに増加となり採用意欲が高まっている。また、厚生労働省「労働経済動向調査」によると、来春の新卒者の採用予定数も大卒理工系で増加、同文科系で同率となっている。企業が採用を増やす理由は、大卒理工系では「技術革新への対応・研究開発体制の充実」が圧倒的に多く、同文科系では「年齢等人員構成の適正化」が最も多くなっており、近年の新卒採用抑制で生じた年齢構成のゆがみの是正がうかがえる。

企業側の採用活動のキーワードとして、「厳選化」の動きはますます顕著になっている。特に、企業が学生に求める能力、資質、意欲といった厳選採用の中身は、どの属性においても「対人コミュニケーション能力」が

最も高く、学生共通に求められる能力として定着しつつある。さらには、採用担当者との面談内容から「ストレス耐性」、「パニックに陥らない」等、人間的な強さやエネルギーを重視し、面接に時間をかけた選考も多くなってきている印象を受けた。一言で表現するのは難しいが、強いて言えば「自ら積極的に行動できるエネルギーの源」が、大いに求められている。

この環境下、今年度の就職指導においては、特に個別面談に重点を置いて実施した。その具体的な内容は、履歴書(自己紹介書)及びエントリーシートを持参させ、自己の「強み」を卒論(修論)、学生時代の主な取組み、自己PR(性格の長所)そして志望動機(企業理解)の項目において、「明確に」、「個性的に」根拠に基づき表現出来るかという確認であった。早い時期からの十分な自己分析(自分の経験・考え方・価値観)、企業理解(仕事理解)が就職内定への最大のポイントであることを学生に指導することが出来た。



## 平成15年度求人就職内定状況(平成15年12月1日現在)

学部	学科・専攻	項目	就職希望者	内定者	内定率(%)	求人企業数		求人数		進学希望者	進学決定者
						求人企業数	1人あたりの企業数	求人数	1人あたりの求人数		
工学部	機械工学科		96	94	97.9	2,536	26.4	5,012	52.2	42	34
	機械システム工学科		74	62	83.8	2,449	33.1	4,871	65.8	27	21
	電気電子工学科		64	59	92.2	2,608	40.8	5,159	80.6	57	46
	電子通信工学科		73	64	87.7	2,441	33.4	4,877	66.8	29	23
	電子情報工学科		49	33	67.3	2,268	46.3	4,549	92.8	22	17
	建築学科		86	46	53.5	1,882	21.9	3,800	44.2	40	26
	土木工学科		83	74	89.2	1,792	21.6	3,615	43.6	30	26
	経営工学科		92	79	85.9	2,116	23.0	4,274	46.5	32	23
	エネルギー基礎工学科		35	28	80.0	1,968	56.2	4,001	114.3	24	15
	小計		652	539	82.7	20,060	30.8	40,158	61.6	303	231
大学院工学研究科	機械工学専攻		35	35	100.0	1,297	37.1	2,531	72.3	0	0
	機械システム工学専攻		16	15	93.8	1,277	79.8	2,496	156.0	1	0
	電気工学専攻		77	74	96.1	1,372	17.8	2,660	34.5	5	1
	建築学専攻		30	18	60.0	856	28.5	1,706	56.9	2	1
	都市基盤工学専攻		17	14	82.4	827	48.6	1,646	96.8	0	0
	経営工学専攻		15	13	86.7	1,096	73.1	2,175	145.0	1	0
	エネルギー量子工学専攻		24	21	87.5	1,003	41.8	2,002	83.4	0	0
	小計		214	190	88.8	7,728	36.1	15,216	71.1	9	2
合計		866	729	84.2	27,788	32.1	55,374	63.9	312	233	
環境情報学部	環境情報学科		154	116	75.3	1,729	10.5	3,440	21.0	25	19
	留学生		10	6	60.0						
大学院環境情報研究科	環境情報学専攻		17	12	70.6						
	留学生		7	3	42.9	868	36.2	1,712	71.3	2	1



## 平成15年度就職内定先企業 / 資本金順上位50社(平成15年12月1日現在) 数値は就職内定者数

工学部・大学院工学研究科			環境情報学部・大学院環境情報学研究科		
東京電力.....1	NTTデータ.....1	村田製作所.....1	ソニー.....1	イトーヨーカ堂.....1	東急リパブル.....1
日産自動車.....16	セガ.....1	CSK.....1	富士通.....1	トステム.....1	エフエフシー.....1
ソニー.....2	ブリヂストン.....1	セコム.....1	日立製作所.....2	大東建託.....1	ミルボン.....1
トヨタ自動車.....1	マツダ.....1	石川島播磨重工業.....1	東芝.....2	住友林業.....1	日立システムアンドサービス.....1
NTT東日本.....1	スズキ.....1	ファイザー.....1	東日本旅客鉄道.....1	ナムコ.....1	インクメントP.....1
富士通.....1	京セラ.....1	SMC.....1	積水ハウス.....2	岡村製作所.....1	東急ハンズ.....1
日立製作所.....1	大日本印刷.....1	いすゞ自動車.....2	キャノン.....1	センコー.....1	アオイ環境.....1
東芝.....5	大和ハウス工業.....1	竹中工務店.....1	NTTデータ.....1	セブンイレフ・ジャパン.....1	日本環境認証機構.....1
三菱重工業.....1	凸版印刷.....4	ルネサステクノロジ.....2	リコー.....1	明電舎.....1	アース環境サービス.....1
NEC.....3	JT.....1	パイオニア.....2	大日本印刷.....1	サカタのタネ.....1	東京ゼロックス.....1
NTTコミュニケーションズ.....1	大成建設.....6	INAX.....2	大和ハウス工業.....2	日立情報システムズ.....1	日本設計.....1
松下電器産業.....1	本田技研工業.....6	富士電機ホールディングス.....4	セコム.....1	アルファシステムズ.....1	進研アド.....1
JR東日本.....1	NECエレクトロニクス.....1	アイシン精機.....1	ファイザー.....1	立川プラインド工業.....1	緑生研究所.....1
積水ハウス.....2	富士重工業.....1	オリンパス光学工業.....3	クレディセゾン.....1	ノダ.....1	警視庁.....1
三菱電機.....4	清水建設.....1	ケンウッド.....1	JSAT.....1	明光商会.....1	山梨県警察本部.....1
キャノン.....2	日野自動車.....3	小森コーポレーション.....1	竹中工務店.....1	ビジネスプレイン太田昭和.....1	社会システム研究所.....1
三菱自動車工業.....3	全日空.....2		パイオニア.....1	佐島電機.....1	



## 平成15年度卒業見込者に対する都道府県別求人数および就職内定者数

(平成15年12月1日現在) 都道府県名の横の数字は求人数で、( )内の数字は就職内定者数を示す。

北海道 499( 0 )	栃木 599( 2 )	石川 345( 2 )	滋賀 96( 1 )	岡山 229( 0 )	佐賀 36( 1 )
青森 308( 0 )	群馬 580( 5 )	福井 354( 2 )	京都 660( 6 )	広島 618( 3 )	長崎 77( 0 )
岩手 136( 0 )	埼玉 1,490( 9 )	山梨 255( 2 )	大阪 3,027( 26 )	山口 64( 0 )	熊本 82( 0 )
宮城 238( 0 )	千葉 929( 3 )	長野 870( 6 )	兵庫 590( 3 )	徳島 40( 1 )	大分 54( 0 )
秋田 128( 0 )	東京 34,083( 494 )	岐阜 269( 0 )	奈良 58( 0 )	香川 163( 0 )	宮崎 92( 0 )
山形 142( 0 )	神奈川 5,777( 84 )	静岡 1,486( 17 )	和歌山 126( 0 )	愛媛 277( 1 )	鹿児島 111( 0 )
福島 304( 0 )	新潟 768( 1 )	愛知 2,283( 14 )	鳥取 48( 0 )	高知 140( 1 )	沖縄 68( 0 )
茨城 727( 4 )	富山 344( 1 )	三重 284( 1 )	島根 48( 1 )	福岡 624( 5 )	海外 0( 0 )



## 就職・進学活動スケジュール

工学部		進路・勉強方法を考える	進路についてより具体的に考える	就職・進学活動の本番です
学年	1・2年生	3年生	4年生	
課外講座等	[全学年対象] 4月 自己発見レポート(1年生) 自己プログレスレポート(2年生) 5月 自己発見レポート フォローガイダンス 自己プログレス フォローガイダンス プレ就職講習会	4~6月 8月 公務員試験模試 初級シニアド5日間集中講座 基本情報7日間集中講座	11月 公務員ガイダンス及び講座説明 12月 公務員試験受験対策講座 12~3月 公務員試験模試	4月 各学科就職ガイダンス(第3回) 就職試験対策(模擬面接) *学内での希望調査及び推薦者決定 4~6月 *採用試験(3月から開始の企業あり) *採用内々定 10月 採用内定 学内での採用内定報告手続
民間企業	4月 自己発見レポート(1年生) 自己プログレスレポート(2年生) 5月 自己発見レポート フォローガイダンス 自己プログレス フォローガイダンス プレ就職講習会	7月 リクルート就職講演会 10月 各学科就職ガイダンス(第1回) 適性検査(職業適性・情報処理適性) 11月 Uターン就職ガイダンス 就職講演会(就職活動全般) " (自己分析) " (業界研究) " (エントリーシート・論作文) 11月~ 就職試験対策(SPI・論作文) *自己分析・筆記試験対策 12月 *業界・企業研究、エントリー 1月 各学科就職ガイダンス(第2回) 2月 就職試験対策(一般常識・SPI・履歴書) " (模擬面接) 公開模擬面接 3月 就職試験対策(一般常識・SPI) 学内企業研究会	4月 進学予定者対象の進学説明会 図書館などで大学院の各専攻内容や 入試問題等を検討	4月 進学予定者対象の進学説明会 5月 推薦入学募集要項入手・願書提出 6月 推薦入学試験 8月 学生募集要項入手・願書提出 9月 第1次入学試験 2月 第2次入学試験
本学大学院進学		4月 進学予定者対象の進学説明会 図書館などで大学院の各専攻内容や 入試問題等を検討	4月 進学予定者対象の進学説明会 5月 推薦入学募集要項入手・願書提出 6月 推薦入学試験 8月 学生募集要項入手・願書提出 9月 第1次入学試験 2月 第2次入学試験	4月 進学予定者対象の進学説明会 5月 推薦入学募集要項入手・願書提出 6月 推薦入学試験 8月 学生募集要項入手・願書提出 9月 第1次入学試験 2月 第2次入学試験
他大学大学院(海外留学)		7月~ 他大学または留学先より資料を取り 寄せ情報収集活動	4月 指導教授と相談の上、進学先の検討 入学試験	4月 指導教授と相談の上、進学先の検討 入学試験
↓ 自己の適性に基づいて家庭で協議 ↓				
環境情報学部		進路・勉強方法を考える	進路についてより具体的に考える	就職・進学活動の本番です
学年	1・2年生	3年生	4年生	
課外講座等	通年 課外英会話講座 6月 課外講座オリエンテーション	8月 基本情報7日間集中講座 初級シニアド5日間集中講座	9月 公務員・民間就職試験準備対策講座 2月 基本情報7日間集中講座 初級シニアド5日間集中講座	3月 日商簿記3級試験対策講座 TOEICスコアアップ集中講座
民間企業	4月 自己発見レポート(1年生) 自己プログレスレポート(2年生) 就職講演会 (1・2年対象ガイダンス) 5月 自己発見レポート フォローガイダンス 自己プログレス フォローガイダンス 就職特別講演会 10月 就職特別講演会	4月 就職ガイダンス(就職準備) 留学生就職準備ガイダンス 就職講演会(オープニングセミナー) 5月 職業適性検査 6月 模擬テスト(一般常識) 模擬テスト(SPI) 就職ガイダンス(就職活動アドバイス) 7月 就職講演会(業界・職種研究) 就職ガイダンス(就職準備ガイダンス) 就職講演会(就職環境と就職活動) 9月 就職ガイダンス(就職準備) 模擬テスト(経済常識)&講演会 就職希望面談(3年生全員) 模擬テスト(一般常識) 模擬テスト(SPI) 10月 就職特別講演 就職総合(キャリアガイダンス) 就職特別講演 自己分析セミナー 就職特別講演 エントリーシート対策セミナー 就職実践模試「START」 就職適性検査「CAREER FOCUS」+自己PR作成シート リクルートファッション&メイク講座 就職体験報告会 エントリーシート攻略テスト 11月 学内業界研究会(各業界代表的企業を招聘) 12月 模擬テスト(一般常識) 模擬テスト(SPI) 面接対策セミナー(公開模擬面接) 就職講座(論作文講座) 就職講座(履歴書作成対策(自己表現テスト)) 模擬テスト(情報処理適性検査) 2月 就職ガイダンス(就職直前) 模擬テスト(SPI) 学内企業研究会 就職講座(履歴書作成対策(自己表現テスト)) 就職講座(論作文講座) 3月 模擬面接講座(面接、グループディスカッション指導) *採用試験	4月 学内での希望調査及び推薦者決定 就職ガイダンス(求人状況・活動心得等) 6月 就職ガイダンス(未内定者ガイダンス) 7月 学内企業研究会 *採用内々定 10月 採用内定 学内での採用内定報告手続	4月 学内での希望調査及び推薦者決定 就職ガイダンス(求人状況・活動心得等) 6月 就職ガイダンス(未内定者ガイダンス) 7月 学内企業研究会 *採用内々定 10月 採用内定 学内での採用内定報告手続
本学大学院進学		4月 就職ガイダンス(就職準備) 留学生就職準備ガイダンス 就職講演会(オープニングセミナー) 5月 職業適性検査 6月 模擬テスト(一般常識) 模擬テスト(SPI) 就職ガイダンス(就職活動アドバイス) 7月 就職講演会(業界・職種研究) 就職ガイダンス(就職準備ガイダンス) 就職講演会(就職環境と就職活動) 9月 就職ガイダンス(就職準備) 模擬テスト(経済常識)&講演会 就職希望面談(3年生全員) 模擬テスト(一般常識) 模擬テスト(SPI) 10月 就職特別講演 就職総合(キャリアガイダンス) 就職特別講演 自己分析セミナー 就職特別講演 エントリーシート対策セミナー 就職実践模試「START」 就職適性検査「CAREER FOCUS」+自己PR作成シート リクルートファッション&メイク講座 就職体験報告会 エントリーシート攻略テスト 11月 学内業界研究会(各業界代表的企業を招聘) 12月 模擬テスト(一般常識) 模擬テスト(SPI) 面接対策セミナー(公開模擬面接) 就職講座(論作文講座) 就職講座(履歴書作成対策(自己表現テスト)) 模擬テスト(情報処理適性検査) 2月 就職ガイダンス(就職直前) 模擬テスト(SPI) 学内企業研究会 就職講座(履歴書作成対策(自己表現テスト)) 就職講座(論作文講座) 3月 模擬面接講座(面接、グループディスカッション指導) *採用試験	4月 学内での希望調査及び推薦者決定 就職ガイダンス(求人状況・活動心得等) 6月 就職ガイダンス(未内定者ガイダンス) 7月 学内企業研究会 *採用内々定 10月 採用内定 学内での採用内定報告手続	4月 学内での希望調査及び推薦者決定 就職ガイダンス(求人状況・活動心得等) 6月 就職ガイダンス(未内定者ガイダンス) 7月 学内企業研究会 *採用内々定 10月 採用内定 学内での採用内定報告手続
他大学大学院(海外留学)		7月~ 他大学または留学先より資料を取り 寄せ情報収集活動	4月 指導教授と相談の上、進学先の検討 入学試験	4月 指導教授と相談の上、進学先の検討 入学試験
↓ 自己の適性に基づいて家庭で協議 ↓				

絵で見る  
**キャンパス SPOT ⑩**  
 世田谷キャンパス SAKURA CENTER 14の巻



2004年に創立75周年を迎える本学。その記念事業の一環として世田谷キャンパスの再開発計画がスタートし、第一段階として03年3月に体育館と食堂棟などを内包する新14号館が竣工されました。これが「SAKURA CENTER 14」です。自然換気システムや地震の震動を吸収する制震ダンパ、さらに各所に配置された無線LANといった最新設備を備えるだけでなく、建設にあたっては旧体育館で使用されていたさまざまな建材が再利用されており、設計コンセプトのひとつである「環境」を見事に体現していると言えるでしょう。本学の新しい中核施設であるSAKURA CENTER 14の内部がどのようになっているのか、写真とともにお伝えしましょう。



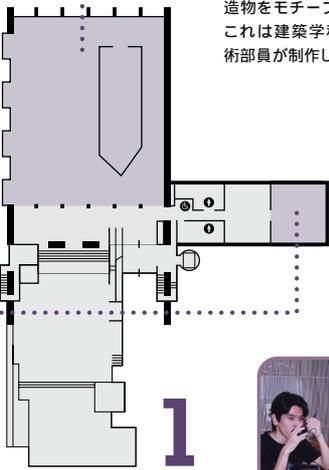
## CANTEEN RARA



学生食堂のコンクリート壁を彩る、円周率と世界各国の建造物をモチーフにした壁画。これは建築学科の学生と美術部員が制作したものです。



旧学生食堂より約400席を増やし、約1000席を確保した広大な新学生食堂、CANTEEN RARA。全国でも珍しいオール電化の電磁調理器具を完備しています。イス等は有名デザイナーが手掛けたもので、明るく、シックな内装雰囲気とびったりマッチ。床のフローリングは、かなりの部分が旧体育館からの再利用です。なお使用している食器はすべて学生のデザインを元にした本学オリジナルです。(営業時間/平日8:30~9:30、11:00~19:00。土曜日は16:00まで)



学生たちの希望により、お弁当販売もスタート。毎日約100食以上を用意していますが、いつもあっという間に完売してしまうそうです。人気は「おろし竜田弁当」(350円)。



料理を運ぶのはセルフサービス。好きなメニューを取りながら歩き、最後にレジカウンターで料金を支払う方式です。お得なプリペイドカードもあります。



学食スタッフの坂井田さん。「武蔵工大の皆さんはマナーがいいので助かっています。今ではたくさんの学生さんと顔見知りになっていて、そんな人から「お姉さん、ちょっと多くしてね」「なんて言われるんですよ(笑)」。



朝食を食べていた篠宮徹君(電子情報4年)たち。「ほぼ毎日、朝食はここで食べています。300円以内で済むので助かっています」。



ランチタイムにお気に入りのメニューに舌鼓を打っていた滝口涼子さん(建築3年)たち。「前の学食は揚げ物系が多かったけど、新しくなってからはメニューのバランスがいいみたい」。

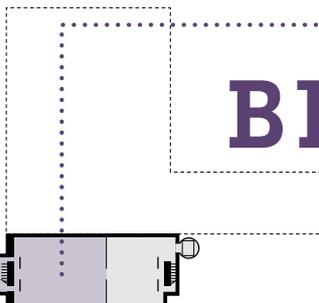
## TRAINING ROOM



街のフィットネスジム顔負けの充実した器具を備えているトレーニングルーム。個人はもちろん、部やサークルでの利用も多いようです。このトレーニングルームの横にはロッカールームが併設されています。



ラグビー部の鈴木篤君(電気電子4年・左)と岡村亮佑君(機械3年)は、揃ってリハビリを兼ねた筋力トレーニング中。2人とも練習で身体を痛めてしまったんだそうです。「身体がなまらないように週に4日は利用しています」(鈴木君)。



# B1

## BOOKS&STATIONERY



従来までは9号館内に別々にあった本屋さんと文具屋さん。SAKURA CENTER 14では地下1階スペースに両者をまとめ、より使い勝手が向上した。(営業時間/平日8:50~17:00。土曜日は8:50~15:00)



## ARENA 1

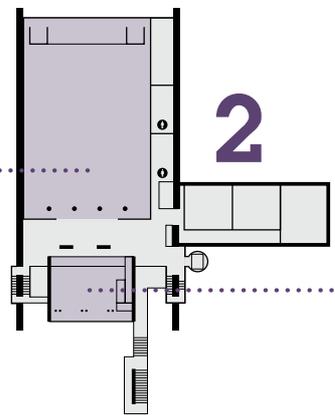
取材時は体育の授業を行っていたアリーナ1。昼時などには開放されることもあり、用具は体育事務・管理室で貸し出してくれます。なお式典などで使用した場合の収容人数は約2700名。これは旧体育館の800人増です。



体育の授業を終えたばかりの中久木偉樹君(機械1年)たち。「授業以外にも、開放時間を使って、バスケやテニス、卓球などを仲間と楽しんでいます。どこもかしこも新しいせいか、旧体育館のときよりも気持ちよく汗を流せますね。」



体育技術員の鈴木育子さん。「女子のシャワールームが新設されたのは喜ばしいことです。旧体育館のときは、女子は1号館までシャワーをばいに行っていましたから。」



# 2

## CAFE SORA

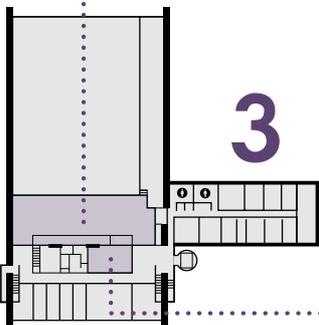


福井良寛君(都市基盤2年)たち。「大学の中にこんなにいい雰囲気のある場所があることが何よりもうれしい。パンはどれもおいしいし、学食よりこちちを利用することのほうが多いです。ただパンの値段はもう少し安くならないかなあ。」

天気がいい日には眩いばかりの陽光がふんだんに降り注ぐ、モダンでお洒落な雰囲気のカフェテリア。その場で焼き上げる自家製パンの味わいが秀逸。エスプレッソをはじめとするドリンク類も本格的です。パーティや各種イベントスペースとしても利用されています。(営業時間/平日8:30~17:00。土曜日は16:00まで)



クロワッサンからカレーパンのような総菜パンまで、幅広い種類を用意しているのが自慢。ときおり学生たちに混じって、パンの焼き上がりを待つ地域の人たちの姿も見かけます。



# 3

## ARENA 2



通常は卓球室として利用されているアリーナ2。壁面には可動式の椅子席が収納されており、必要などときには観覧席に早変わりします。

3階には茶道や華道等のできる洒落た和室も設置されています。国際化を標榜し、留学生も多い本学であるからこそ、このように日本の伝統文化を伝えるスペースは重要なのです。



## MUSASHI-AN



## クラブ活動紹介 ㉑



創立以来30年以上もの歴史を誇る世田谷キャンパスの「潜水科学研究会」と、横浜キャンパスに本拠を置く同好会としてはこちらも“老舗”の部類に入る、創立7年目の「ダンス同好会LAVI」。今回はこの2団体の活動状況を報告します。

海の世界の神秘に魅せられ、日々バイト三昧!?

### 潜水科学研究会



📍 八丈島合宿にて。みんないい色に焼けています

顧問：土井雅博(機械工学科教員)  
学生責任者：土屋貴由(機械工学科3年)  
部員数：41名(うち女子12名)

#### 主な活動

- 4月 お花見 / 新歓コンパ
- 5月 1年生ライセンス取得
- 7月 合宿 / バーベキュー
- 9月 八丈島合宿
- 11月 MI-TECH祭
- 12月 オフ / 鍋大会
- 1月 新年会
- 2月 追い出しコンパ
- 3月 スキー / スノボ合宿(任意)

## 📍 シーズンには毎週のように中古のワンボックスを駆り 西伊豆の馴染みのスポットでダイビングを実施

スキューバ・ダイビングに挑戦してみたいと考える人たちが毎年入会してくる「潜水科学研究会」。やや堅苦しい名称を持っていますが、これは同団体の設立が今から37年も前のため。当時はスキューバ・ダイビングという言葉が一般的じゃなかったのです。現メンバーの中には密かに、海に関する研究をしていそうな名称にしたほうが新団体の設立申請がしやすかったのでは、と推測する人もいますが……。ともあれ、30年以上一度もその活動が途切れることなく、現在40名もが在籍する大所帯に成長しているのは、同好会としてはなかなかのもの。さて彼ら「潜水科学研究会」の活動内容はどんなものでしょうか。

「オンシーズンには毎週末のように日帰りでダイビングに行きます。参加者が多くなると移動面や安全面で大変なので、1回のダイビン

グに人数が集中しないよう、毎週水曜日のミーティングで先々までのダイビング計画を立て、みんなが参加する日にちを割り振っています。(土屋貴由君・会長・機械3年)

行き先として多いのは、西伊豆の大瀬崎。その理由は、ここにあるショップだとタンクのレンタル費用が安くあがるため。現地までの移動は、2年前に部費で購入した中古のワンボックスに乗り合わせて行っています。



頑張り屋で熱血漢の土屋貴由君。まさに会長にふさわしいキャラクターです。



さまざまな魚と  
出会うことができる



会長の土屋君が記念すべき  
100ダイブを達成したときの模様



海の中で上下左右、自由自在に身体を  
移動できるのがスキューバの醍醐味

## 📌 創立以来続く伝統の八丈島合宿が 年間を通してのメインイベント

彼らが一年中でもっとも心待ちにしている行事が9月に八丈島で行う夏合宿です。八丈島の海は普段彼らがホームグラウンド的に利用している西伊豆近辺と比べて格段に透明度が高く、遭遇できる魚の種類も豊富。彼らはここでダイビングのスキルを上げるとともに、メンバー同士の親睦を深めていくのです。この期間中に、彼らの多くがひとつの目標として設定している“100ダイブ”(通算100回目の潜水のこと)に達する人も多く、学生時代の良き思い出の場ともなっているようです。「スキューバというスポーツには、発表会も大会もありません。だから、この八丈島合宿が我々にとってのメインイベント。実は創立の頃から続いている伝統行事なんです。10年、20年後の後輩たちにもぜひ続けてもらいたいですね。(土屋君)

週末ごとに実施される日帰りダイビングにこの八丈島の合宿と、何かと費用がかさみそうですが、どのように工夫しているのでしょうか?

ただでさえスキューバ・ダイビングはお金がかかるというイメージがありますが、「たしかにお金はかかりますね。最初にマスクやウェットスーツなどの身の回りの器材を揃えるだけで、5万円ぐらいい飛んでいきます。だからバイトを頑張らないと(笑)。とはいえ、街のショップを通じてダイビングを楽しんでいる一般の人と比べたらずっと安上がり。日帰りの場合も合宿も、完全に我々だけで企画していますから。それだけに安全には気を使わないといけません(丸本典充君・副会長・電子通信3年)

実際に、彼らの安全に対する意識は非常に高いものです。

全員にインストラクターなしでダイビングできる“オープンウォーターライセンス”の取得を義務付けているのはその現れであり、潜る際には必ずバディ(二人一組となること)を組むというダイビングの鉄則も当然遵守。もちろん、1年生が慣れるまではそのすぐそばに上級生が必ず付き添い、ダイビングの基本を教えるとともに、少しでも危険性がないかを徹底的にチェックしています。さらに毎週水曜のミーティングでも、ことあるごとに海やダイビングについての講習的な要素が盛り込まれるとか。おかげで創立以来いまに至るまで、ほんの些細なトラブルですら一度も起こしていません。この徹底した安全対策も、同団体が長年存続してきた理由のひとつでしょう。これからそのまま安全第一で、思い出に残るダイビングの回数を増やしてくださいね。



丸本典充君は副会長。ムードメーカー的な存在で、みんなを和ませています。



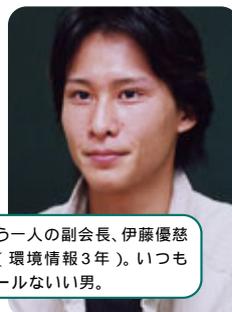
何事もしっかりしている三枝直樹君(機械システム3年)は会計を担当。



将来のエース、と先輩達から期待されている神治統空君(環境情報2年)



次期会長の禰覇陽子さん(システム情報2年)。二人目の女性会長の誕生です。



もう一人の副会長、伊藤優慈君(環境情報3年)。いつもクールないい男。



素潜り歴が長く、泳ぎのセンスが抜群にある清水太郎君(システム情報2年)。



好きなことだからハードな練習が全然苦にならない！

## ダンス同好会 L A V I



📍 世田谷キャンパスのMI-TECH祭にて。A地区-B地区間の公道“歩行者天国”でのダンスパフォーマンス。



顧問：川村久美子(情報メディア学科教員)  
学生責任者：下地麻美(情報メディア学科2年)  
部員数：40名(うち女子12名)

### 主な活動

- 4月 入学式PRタイム / スプリングフェスティバル / フレッシュマンキャンプ / 新入生歓迎会
- 6月 MI-TECH横浜祭
- 8月 夏合宿
- 11月 MI-TECH祭
- 3月 謝恩会

## 📍 2年続けて新入生が20名以上入会 踊ってみたい人は実はいっぱいいた！

ダンス同好会と言っても、社交ダンスではありませんからお間違えなく。彼らLAVIの面々が夢中になり、日々スキルに磨きをかけているのは、ブレイクダンス、ヒップホップ、ハウス、ロックといったジャンルを擁する、若者に人気のいわゆるストリート系のダンスです。そう聞くと、なんだか不良っぽいイメージを抱く方もいるかもしれませんが、ご安心を。彼らは純粋にダンスという表現手段を愛しており、練習する姿もいたって真面目。いや、体育会顔負けにハードな練習をこなしています。基本的に月曜日が決まった活動日となっていますが、発表が近いとあれば、週5日練習することもザラ。毎回3時間はみっちり汗を流し、それでも追いつかない場合は土曜日を使って練習するそうです。しかもこのときは朝10時から夜8時までの長丁場となることも！ その成果については、6月、11月の「MI-TECH祭」や、9月の「大学と父母との連絡会」(横浜地区)に参加された方ならご記憶がもしもせんね。プロ顔負けの華麗なダンスを披露してくれた集団、彼らがLAVIです。

創立は環境情報学部が新設されたのと同じ97年。当初は20人ほどのメンバーでスタートしました。しかしこの頃のLAVIは、学内

でのサークル活動というより、街中のクラブで踊ることをメインとしており、やがて休眠状態に。しかし今の4年生たちが1年生のとき、ダンス好きの仲間を4人集めて新生LAVIとして再スタート。MI-TECH祭をはじめとする学内イベントでの発表に主眼を置いた活動を行い始めました。「その次の年、つまり今の3年生は誰もLAVIに入らなかったけど、私たちの代でいきなり22名が入会。今年の1年生も20名の入会があり、今や40名以上の大所帯。踊ってみたいと考えている人って、実はもの凄くいっぱいいるんです。今まではその受け皿がなかっただけで、(下地麻美さん・会長・情報メディア2年)



“姫”というあだ名が性格を物語る(?)会長の下地麻美さん。



MI-TECH祭では学生はもちろん、ご父母や地域の方々など来場した多くの方々の目を楽しませていました。



横浜キャンパスのトレーニングルームを使用した練習。

## 体育会に加盟するのも魅力だけれど 同好会の気軽な雰囲気も合っているかも

今の2年生の代になって急激にメンバーが増えたのには理由があります。彼らが1年生のときのフレッシュマンキャンプに、他の部活動やサークルの代表と同じく、LAVIの先輩の一人も新入メンバー勧誘のために参加。集まった1年生の前で、「モーニング娘。」のヒット曲に合わせて華麗なダンスを披露してくれたのです。

「カッコ良くて、面白くて、とても衝撃的でした。自分もあんな風に身体を動かしてみたいと強く思ったんです。だから私を含めて入会希望者が殺到したんでしょうね」(下地さん)

意外なことに、LAVIメンバーのほとんどがダンス初心者。TVや映画によりダンスに興味を感じていても、どこで教えてもらえるかわからず、悶々としていたケースが多いようです。そこに手を差し伸べたのが先輩のダンス。だから下地さんたちも2年生になった今年、入学式のPRタイムやスプリングフェスティバル、さらにフレッシュマンキャンプで後輩たちの前でダンスを披露。精一杯勧誘を頑張りました。その結果が、2年続けての20名増に結びつきました。

「倍、倍に増えているので、ボクたち自身、正直とまどっている部分もあります。これだけ大所帯に成長した今、目標をどこにおけばいいのかわかっているんですね。ただ6月と11月のMI-TECH祭がメインの発表の場であるのは、今後も変わらないでしょうね。となると大切なのは、エンターテインメント性。ボク達と同じ年代の学生はもちろん、子供からお年寄りまでが楽しんでもくれるダンスを心がけな

いと」(荒井英一君・副会長・システム情報2年)

「人数が増えたんだから、体育会に入ったらどうかと大学側からお誘いがありますが、ボクは今までの同好会のままでいいと思う。体育会のほうが体育館が借りやすかったり活動費が増えたりしますが、他の団体のかねあいもあるし、同好会の気軽な雰囲気が好きで入会したという人も多いと思うんですよ。ダンスも本来が気軽に楽しむものと考えているので。といっても、ボク達の練習量はたしかに体育会顔負けなんですけど(笑)。合宿なんか、毎日ヘトヘトになってました」(本郷真次君・副会長・環境情報2年)

軸足を大学内での活動に置き、ダンスの楽しさを純粋に追求しているLAVI。これからもより多くの人たちにダンスの魅力を伝えてくれることを期待しています。



笑いのセンスでは右に出るものがない猪信之君(情報メディア2年)



ダンスの指導の確かさに定評のある荒井英一君。得意なジャンルはハウス



高度なブレイクダンスの技もなんなくこなす安藤圭君(情報メディア1年)



見かけ通り、会の中でも存在のデカさが際立つ、本郷真次君。タフガイと評判



会計担当の須永愛さん(情報メディア2年)。フリ覚えの良さは段トツ



練習の参加はトップレベルの頑張り屋、青地崇雄君(環境情報1年)

# ★ Campus Topics ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## ★ “炎”のテーマ通り燃焼できた今年のMI-TECH祭



第74回MI-TECH祭実行委員会 委員長  
柳沢 崇(機械システム工学科2年)



平成15年11月22～24日、世田谷キャンパスにおいて第74回MI-TECH祭が開催されました。テーマは「炎」です。そのテーマにふさわしく活気に満ちたMI-TECH祭を開催するために、皆で努力しました。

初日は幸いなことに天候に恵まれ、土曜日ということもあり、多くの方々にご来場いただきました。元ノルディック複合の金メダリスト、荻原健司さんによる記念講演会も盛況の中、無事終わりました。クイズパネルでDQN!!!は、出場者の方々が優勝賞金目指して盛り上がりを楽しめました。

2日目は気温が下がり寒い日になりました。その寒さの中、Okui, Masamiコンサートには、全席指定にもかかわらず開場よりかなり前の時間から並んでいる人がいました。皆さんの期待のほどが感じられ、我々としても非常にうれしく感じました。また、DJ Festival, Jazz Festivalもノリよくできました。

3日目は、さらに寒くなり曇り空だったので、雨が降るのではないかと心配でした。しかし、雨はなんとか降らずに終了することができました。午後1時より行われた川嶋あいのライブは、大盛況となりました。また、他校との合同コンサート、学園祭ライブツアーなども美しい音色を奏でました。

3日にわたって行われた歩行者天国でのダンスは、とても楽しく盛り上がりました。

今年は新14号館が完成して初めてのMI-TECH祭でした。新14号館のアリーナを使うことにより、多くの方々にその全容をお披露目することができました。

このように3日間にわたり、私達MI-TECH祭実行委員会はテーマ「炎」のように自分達の持てる力を燃焼させることができました。来年は、今年の反省を生かして更なる挑戦のできるMI-TECH祭にしたいです。

## ★ 武蔵工業大学創立75周年記念事業 記念講演会(後援会共催)のお知らせ

本年11月22日開催の荻原健司氏講演会に引き続きまして、平成16年度開催の記念講演会(後援会共催)企画案が下記のとおり決定いたしました。詳細につきましては順次本学ホームページ等でもお知らせいたします。皆様お誘い合わせのうえ、ご来場くださいますようお願い申し上げます。 本学ホームページURL:<http://www.musashi-tech.ac.jp>

日時	場所	講師	テーマ
平成16年 6月 6日	本学横浜キャンパス	中田 宏氏<予定>(横浜市長)	未定
平成16年10月13日	本学世田谷キャンパス	毛利 衛氏<予定>(日本科学未来館館長)	生命へ・宇宙より

【問い合わせ先】 武蔵工業大学 創立75周年記念事業委員会 記念講演会部会 担当:大庭(オオバ)  
TEL:03-3703-3111(代) E-mail:75kinen@adm.musashi-tech.ac.jp

## ★ 横浜キャンパスにベンチ20脚を設置

学生・就職センター課長 鈴木 照海

本年6月、横浜キャンパスに屋外用ベンチ(20脚)が後援会から寄贈されました。現在、中央中庭に設置し、多くの学生が授業の空き時間や課外活動の合間等々で利用しているのを見かけます。横浜キャンパスでは4号館1階の食堂、2階の学生ホール、3号館にあるラウンジが学生たちの主な居場所であったところ、ベンチの設置により、読書をしたり、友人と語らったりとお天気の良い日の学生たちの憩いの場所となりました。また、横浜祭、筍掘り、父母との連絡会、ISOフォーラム等々の多くの人が集まる行事でも、ベンチは大いに利用されていくことと思います。



## ☆ 後援会援助による1年次生及び2年次生の 進路・就職指導支援プログラムの実施について

就職課長 齋藤 潤一

「エンジニアになりたい」これは理工系の学生の多くが抱いている将来像です。理工系の学生は、様々な分野でエンジニアとして活躍するための高度な専門知識を身につけるべく、勉学に励んでいます。一方、種々多様な選択肢がある環境情報学部生もまた然りです。しかしながら、就職課という立場から学生と接して「どのような分野でどのように活躍したいのか」を具体的に語る事ができない学生が年々増えてきていることを実感しています。自己を管理し、人格形成を行う大切な大学生活において、目標を持つこと

なく漫然と過ごしている学生が多いということが実情なのです。

近年、社会構造が複雑化し仕事の形態も多様化し、採用選考も変化しています。企業の求める人材像も、従来の専門的知識はもちろんのこと、その人物に対する付加価値(自発的行動力やコミュニケーション能力、対人関係構築能力等)を重要視するようになりました。採用基準は高く、厳選採用は更に進んでいる状況にあります。

そこでこれらの学生を取り巻く環境を鑑み、以下のように後援会援助による就職関係行事を実施しました。

	対象学部	対象人数	実施時期	受験人数	受験率
自己発見レポート (1年生対象)	工学部	977	6月	835	85.5%
	環境情報学部	475	4月	443	93.3%
自己プログレスレポート (2年生対象)	工学部	928	9月	503	54.2%
	環境情報学部	470	4月	406	86.4%

この低学年次生対象の「自己発見レポート」「自己プログレスレポート」検査は、個人の強みを「性格の傾向」「職業興味」「能力」「進路準備の成熟度」等の各項目毎に分析を行い、早期からの自己理解、学生生活の目標設定を考えるための機会を与え、その到達度を診断結果から客観的に図るためのものです。また、ただ機械的な診断結果を与えるだけではなく、フォローアップガイダンスも行き充実した大学生活を送るべく指導をしています。

今回の低学年次生向け支援プログラムの結果につきましては、

冒頭で述べました通り、自己を理解し目標を持って大学生活を送るという、社会的ニーズに順応できる付加価値を学生自らがつけていくことができるようになる、良いきっかけになっているのではないかと思います。最後になりましたが、このたびの支援プログラム、また就職希望者を対象とした「日経経済常識模擬試験」の実施に関しましてもご援助賜りましたことに感謝申し上げます。今後とも本学の進路・就職指導に関しまして、ご理解・ご協力の程お願い申し上げます。

### 平成15年度緊急奨学金

平成15年度緊急奨学生として1名が採用されました。

#### 課外活動短評

- 航空研究部 —— 第2回モデルロケット大学別選手権大会において準優勝となった。また、個人戦においても加藤修三君(機械システム2年)が優勝を果たした。
- 硬式野球部 —— 東都大学秋季リーグ戦(4部)において、小川達也君(経営4年)が、首位打者となった。
- 水泳部 —— 日本学生選手権水泳大会に竹村亜衣さん(環境情報4年)が、4年連続の出場を果たした。
- ラグビー部 —— 昨年に引き続き、関東理工系大学リーグ戦優勝、全国地区対抗ラグビーフットボール大会予選において優勝し、全国地区対抗大会への9年連続14回目の出場権を獲得した。
- ハンドボール部 —— 関東学生ハンドボール連盟春季リーグ戦において、3部優勝し、2部昇格を果たすと共に、第25回東日本学生ハンドボール選手権大会への出場を果たした。
- アイスホッケー部 —— 5回目の日本学生水上競技選手権大会出場権を獲得した。
- 準硬式野球部 —— 新関東大学準硬式野球秋季リーグ戦において、川原崎徹君(機械1年)が、2部リーグ最優秀投手となった。
- ワンデリングスキー同好会 —— 長野県知事杯争奪木島平学生スキー大会において、準優勝となった。

#### 事務局便り



学生部副部長 持木幸一

平成15年4月から工学部の学生部副部長に就任し、後援会の事務局をお手伝いさせていただくことになりました。学生時代は運動部に所属し、その後、教職員チームでの野球、大学院生や教職員とのゴルフ、研究室でのスキーなど、研究以外の大学生活を楽しんできた経験があります。しかし、教員として学生部関係の仕事は初めてであり、学生の支援にかかわる色々な小委員会に参加させていただき、新鮮な経験をさせていただいております。

さて、今年度春より学生食堂と体育館が改築オープンし、一新されました。以前の食堂も広々とした明るい空間となり、学生部としての立場で見ると、大学全体の雰囲気にも極めて良い影響を及ぼしているのを強く感じます。食事の場だけではなく、グループで勉強したり、部活のミーティングや新入生歓迎会を開催したり、学生同士の良き親睦の場となっております。また、きれいな環境を保とうという意識が高くなり、喫煙ルール違反も少なくなり、マナーもよくなりました。来年秋にはさらに図書館棟が完成し、ますます学園生活が充実してゆくことと思います。

これからも、個々の学生の自立を援助する使命をもつ学生部の重責を認識しつつ、いま一層の改善への努力を続けてゆく所存ですので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

# ◆◆◆ 平成15年度 ◆◆◆ 「大学と父母との連絡会」実施結果 ◆◆◆

平成15年度の「大学と父母との連絡会」は7月12日(土)沖縄の那覇市を皮切りに、9月27日(土)の東京・横浜地区までの間、全国26会場において開催されました。各会場の出席状況は下記のとおりで、各地において評議員の方々には運営等にご協力いただきました。

## ◆◆◆ 会場別出席世帯数(対象県以外からの出席者を含む)

開催地	開催日	会場名	出席世帯数
札幌	9月13日(土)	ホテル札幌ガーデンパレス	10
仙台	9月14日(日)	ホテル仙台プラザ	22
山形	9月13日(土)	山形国際ホテル	4
郡山	9月13日(土)	ホテルハマツ	16
宇都宮	9月14日(日)	関東チサンホテル宇都宮	31
水戸	9月13日(土)	三の丸ホテル	22
東京	9月27日(土)	武蔵工業大学 世田谷キャンパス	495
横浜	9月27日(土)	武蔵工業大学 横浜キャンパス	166
高崎	9月14日(日)	ホテルメトロポリタン高崎	15
新潟	9月13日(土)	ホテルイタリア軒	18
甲府	9月 6日(土)	センティア・ホテル内藤	28
長野	9月 7日(日)	ホテル国際21	14
松本	9月 6日(土)	松本グリーンホテル	15
静岡	9月 7日(日)	ホテルアソシア静岡ターミナル	77
浜松	9月 6日(土)	オークラアクシシティホテル浜松	33
富山	9月 7日(日)	名鉄トヤマホテル	17
金沢	9月 6日(土)	金沢都ホテル	12
名古屋	9月14日(日)	ナゴヤグランドホテル	22
京都	9月13日(土)	京都第2タワーホテル	8
松山	9月 7日(日)	ホテルサンルート松山	7
高知	9月 6日(土)	オリエントホテル高知	10
広島	9月 6日(土)	リーガロイヤルホテル広島	10
小郡	9月 7日(日)	山口グランドホテル	3
福岡	9月 7日(日)	ホテルセントラーザ博多	23
鹿児島	9月 6日(土)	ステーションホテルニューカゴシマ	10
那覇	7月12日(土)	ホテル西武オリオン	8
合 計			1096

## ◆◆◆ 都道府県別出席世帯数

都道府県名	出席世帯数	前年度出席世帯数
北海道	10	8
青森	1	3
岩手	3	2
宮城	11	14
秋田	4	2
山形	5	2
福島	22	22
茨城	25	30
栃木	34	27
群馬	19	14
埼玉	57	37
千葉	45	42
東京	211	155
神奈川	301	233
新潟	20	17
富山	18	18
石川	13	11
福井	1	2
山梨	32	23
長野	33	23
岐阜	4	3
静岡	126	90
愛知	16	15
三重	3	2
滋賀	2	2
京都	4	6
大阪	1	1
兵庫	2	0
奈良	0	0
和歌山	0	1
鳥取	0	2
島根	1	1
岡山	1	7
広島	8	14
山口	3	1
徳島	1	4
香川	1	4
愛媛	6	0
高知	9	10
福岡	14	9
佐賀	4	2
長崎	4	0
熊本	0	1
大分	3	8
宮崎	2	1
鹿児島	8	0
沖縄	8	9
その他	0	0
合 計	1096	878